

# 第22回 NORTH インターネット・シンポジウム 2016



## 『クラウド・コンピューティングの広範な利活用による地域コミュニティ基盤の創成』

- 日 時： 平成 28 年 2 月 18 日(木) 9:30 ~ 17:30  
平成 28 年 2 月 19 日(金) 10:00 ~ 17:00
- 会 場： 北海道大学 学術交流会館小講堂  
[札幌市北区北 8 条西 5 丁目 <http://www.hokudai.ac.jp/>]
- 主 催： 特定非営利活動法人 北海道地域ネットワーク協議会【NORTH】  
共 催： 日本学術振興会 産学協力研究会 インターネット技術第 163 委員会  
医療情報ネットワーク連携分科会(MINX)  
国立大学法人北海道大学 情報基盤センター
- 後 援： 経済産業省 北海道経済産業局  
総務省 北海道総合通信局  
国土交通省 北海道開発局  
北海道  
北海道経済連合会  
北海道公立大学法人 札幌医科大学,  
一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター
- 参 加 費： 無料
- 情報交換会： 会場：『エスト・エスト・エスト』(ホワイトキューブ1F)  
会費： ¥4,000(税込)/1名 【2月18日(木)18:00開会】  
※事前申込をお願い致します。[申込先: [shimmi@sapmed.ac.jp](mailto:shimmi@sapmed.ac.jp)]  
※シンポジウム会場受付にて、お預かり致します。

### 開催経過：

特定非営利活動法人北海道地域ネットワーク協議会【略称：NORTH】は、道内各大学間をインターネットにより接続する研究より誕生した。インターネット・シンポジウムは、研究・実証実験の途上、平成 7 年 2 月北海道大学学術交流会館に於いて情報交換を兼ねた研究会の開催を嚆矢とする。

爾後、大学間系に留まらず企業・団体等に対する働き掛けが奏功し、社会的インフラとしてのインターネット環境構築を提唱、加入会員も企業・団体、更には学術関係者をはじめとする個人に拡大した。

これに伴い本シンポジウムも取り上げられる課題は、通信接続技術に限らず、応用技術、アプリケーション分野、地域社会に於ける多種多様な領域を網羅・拡大すると共に、企業による発表数も増加の一途を辿っている。

時代の変遷・進展、コンピュータ技術の軽量化・高機能化、通信技術の発達・展開に伴い、インターネットは一大社会基盤に成長するに至っている。この情況に鑑み、NORTH はインターネットの普及促進より、地域社会各分野に於いての利活用・応用展開、デジタルデバイス解消、技術者の養成、研究交流等に力点を移動し、これにより本シンポジウムも同時点での事業プロジェクト紹介新たな課題への提言等を加えるに至っている。

更に 2010 年以降、北海道大学情報基盤センターとの共同研究の場としても位置付けられており、活発な学術・研究交流が行われている。

### 開催目的：

- 1) インターネットの普及促進及び地域に対する啓発。
- 2) 情報通信技術(ICT)の向上促進、応用並びに提言。
- 3) 本道に於ける情報通信基盤整備促進。
- 4) 技術者養成を含む人材の育成。
- 5) 産学官間の研究、及び交流、情報共有。
- 6) インターネット活用事例の紹介・発表。
- 7) 地域デジタルデバイス(ICT Literacy)の解消に係る提言。

# 第22回 NORTH インターネット・シンポジウム 2016

プログラム・セッション構成 第1日：2月18日(木)

- 9:30～ 開場
- 9:50～10:00 開会
- 10:00～11:20 G-1 一般口演セッション ■ 医療・社会福祉・介護分野 ■  
座長： 新見 隆彦，札幌医科大学／NORTH 運営総括
- G-1-1 『ヘルスケアデータの利活用をめざした OpenData 構想について』  
水島 洋，一般社団法人 ITヘルスケア学会 代表理事／国立保健医療科学院  
研究情報支援研究センター 上席主任研究官
- G-1-2 『遠隔医療技術と妊婦健診』  
新見 隆彦，北海道公立大学法人 札幌医科大学／NORTH 運営総括
- G-1-3 『北海道における野外彫刻と美術館・博物館・郷土資料館の分布と関連性  
(Google Maps/Earth による彫刻地図コンテンツの活用)』  
橋本 信夫，札幌彫刻美術館友の会 代表／北海道大学 名誉教授
- G-1-4 『医療福祉とシンギュラリティの2045年予測』  
魚住 超，工学博士／NORTH 理事
- 11:30～12:30 一休憩一
- 12:30～12:40 来賓挨拶
- 12:40～13:30 S-1 シンポジウム基調講演  
座長： 辰巳 治之，札幌医科大学／NORTH 会長
- S-1-1 『今こそ日本のICT技術が試される  
— 障害者差別解消、シニア層活性化、教科書・本のデジタル化 —』  
釜江 常好，東京大学 名誉教授／スタンフォード大学 名誉教授
- 13:30～14:50 G-2 一般口演セッション ■ セキュリティ・NW 先進技術分野① ■  
座長： 馬場 聡，北海道総合通信網株式会社
- G-2-1 『NTT 東日本のICTに関する取組みについて』  
星 政義，東日本電信電話株式会社 北海道法人営業部 第四営業部門長
- G-2-2 『内部暗号化通信の監査による情報漏えい対策の実現 SSH Crypto Auditor ソリューション』  
荒井 勇樹，株式会社ディアイティ
- G-2-3 『国民のマルウェア対策支援プロジェクト  
— ACTIVE (Advanced Cyber Threats response Initiative) の取組み —』  
北村 和弘，エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 主査
- G-2-4 『マルウェア駆除及び感染防止の取組状況～ACTIVE 活動の報告～』  
馬場 聡，北海道総合通信網株式会社 部長
- 14:50～15:10 一小憩一
- 15:10～16:30 P-1 企画セッション ■ ICTによる地域包括ケア支援 ■  
座長： 新見 隆彦，札幌医科大学／NORTH 運営総括
- P-1-1 『介護と在宅医療看護との連携を』  
萩生田 知香志，株式会社アクティブケア 福祉用具事業部 部長
- P-1-2 『地域医療ネットワーク「とねっと」— 運用と将来像 —』  
栗原 智之，加須市医療診断センター 放射線科 技師長
- 16:30～17:20 S-1 NORTH 会長講演  
S-1-2 『情報薬の社会応用 — 細胞及び社会における認知症対策』  
辰巳 治之，札幌医科大学大学院医学研究科 教授／NORTH 会長
- 17:20～17:30 ご案内：情報交換会のお知らせ

プログラム・セッション構成 第2日：2月19日(金)

- 10:10～ 開場
- 10:40～12:00 G-3 一般口演セッション ■ 情報通信・応用研究・開発技術分野 ■  
座長： 魚住 超, NORTH 理事  
G-3-1 『HANA を用いた大規模 IoT 実験ネットワーク環境の構築』  
藤川 賢治, 国立研究開発法人 情報通信研究機構 主任研究員  
G-3-2 『成熟社会のモノづくり』  
青木 直史, 北海道大学情報科学研究科 助教  
G-3-3 『脳腫瘍摘出手術におけるネットワーク医療の検討』  
藤野 雄一, 公立はこだて未来大学 情報アーキテクチャー学科 教授  
G-3-4 『遠隔診療の可能性について —産業サイドからのアプローチ—』  
新井 浩二, エムキューブ株式会社 代表取締役社長
- 12:00～13:00 —休憩—
- 13:00～14:00 S-2 シンポジウム記念講演  
座長： 辰巳 治之, 札幌医科大学/NORTH 会長  
S-2-1 『北海道の医療現場から — 情報伝達とコミュニケーション —』  
丸山 淳士, 社会医療法人孝仁会 五輪橋産科婦人科小児科病院 名誉理事長
- 14:00～14:20 —小憩—
- 14:20～15:30 P-2 パネルディスカッション ■ 地域包括ケア環境と ICT ■  
P-2-1 『クラウド ICT による地域視点の福祉社会基盤構築を展望する』  
座長： 辰巳 治之, 札幌医科大学 教授/NORTH 会長  
パネリスト： 石井 安彦, 北海道保健福祉部 医療参事/医師  
釜江 常好, 東京大学名誉教授/スタンフォード大学 名誉教授  
丸山 淳士, 五輪橋産科婦人科小児科病院 名誉理事長/医師  
栗原 智之, 加須市医療診断センター 放射線科 技師長  
新井 浩二, エムキューブ株式会社 代表取締役 社長  
萩生田 知香志, 株式会社アクティブケア 部長
- 15:30～15:40 —小憩—
- 15:40～16:40 G-4 一般口演セッション ■ セキュリティ・NW 先進技術分野② ■  
座長： 宮部 昌生, 東日本電信電話株式会社  
G-4-1 『釧路高専における CloudStack の活用について』  
森越 友祐, 釧路工業高等専門学校 情報工学科  
高橋 晃, 釧路工業高等専門学校 情報工学科 教授  
G-4-2 『次世代セキュリティ無線 LAN 概要— Secure Access Architecture(SAA)の提唱 —』  
井上 祥二, フォーティネットジャパン株式会社 部長  
G-4-3 『ネットワークスイッチによる内部対策のご提案  
— 業界初！通信フローのホワイトリスト自動生成機能 —』  
小林 春樹, アラクサラネットワークス株式会社 課長  
鈴田 伊知郎, アラクサラネットワークス株式会社 主任
- 16:40～16:50 閉会の辞

以上

## 第22回 NORTH インターネット・シンポジウム 2016

### — シンポジウム基調講演 講師略歴 —



講師近影

氏名： 釜江 常好（かまえ つねよし）  
Tsuneyoshi (Tune) KAMAE

略歴： 東京大学理学部物理学卒業  
プリンストン大学PhD  
東京大学理学系研究科教授  
広島大学理学研究科教授  
スタンフォード大学(SLAC/KIPAC)教授  
東京大学インターナショナル・サイエンス・ネットワーク(TISN)代表

現職： 東京大学・スタンフォード大学名誉教授  
(専門分野：宇宙・素粒子物理学)

所属学会等： 日本学術振興会 産学協力研究委員会  
インターネット技術第163 委員会(ITRC)  
ユニバーサル・アクセス分科会(UAI)主査  
クリエートシステム開発株式会社  
ユニバーサル・アクセス携帯部門ボランティア

[Note] 本資料は、独立行政法人 日本学術振興会 産学協力研究委員会インターネット技術第163 委員会・第35 回インターネット技術第163 委員会研究会における公開資料、及びクリエートシステム開発株式会社Web Page より転載。一部改編しております。

## 第22回 NORTH インターネット・シンポジウム 2016

### — シンポジウム記念講演会 講師略歴 —



講師近影(HBC ラジオ HP より転載)

- 氏名： 丸山淳士（まるやま・じゅんじ）  
医学博士、五輪橋産科婦人科小児科病院名誉理事長  
☆「医師1人でも、どんな疾患にも対応できる」から  
という動機で産科医を志す。
- 生年月日： 昭和13年(1938年)3月26日
- 出生地： 北海道紋別郡鴻之舞
- 所属学会等： 日本産婦人科学会専門医  
北海道産婦人科学会監事  
北海道音楽療法協会会長  
北海道学生柔道連盟副会長
- 勤務先： 社会医療法人孝仁会 五輪橋産科婦人科小児科病院
- 職位・職名： 理事、医師
- 住所： 〒005-0802 札幌市南区川治2条1丁目2-55
- 電話： TEL: (011)571-3110 / FAX: (011)571-1989  
e-Mail: maruyama.j@gorin.or.jp / <http://www.gorinbashi.com/>
- 略歴： 1964年 札幌医科大学医学部卒業。  
門別国保病院、斗南病院等を歴任。  
1980年 五輪橋産科婦人科小児科開業  
1990年 法人化  
2005年 名誉理事長、現在に至る
- ◆ラジオ番組 『ドクター丸山の病気なんてぶっとばせ!』  
(HBCラジオ『朝刊さくらい』毎週水曜日6:30~9:00放送)
- ◆スポーツ、写真、音楽と幅広い趣味でも活躍。健康の普及の為にユニークな発想で知られる。  
HBCラジオで提唱した「脱パンツ健康法」は全国的に注目を集めた。
- ◆著書多数。



## 第22回 NORTH インターネット・シンポジウム 2016

### — シンポジウム会長講演 講師略歴 —



講師近影

- 氏名： 辰巳 治之 (たつみ はるゆき)
- 所属： 北海道公立大学法人 札幌医科大学 大学院医学研究科 生体情報形態学
- 職位： 教授/医師
- 学歴： 昭和 57 年 3 月 山形大学医学部卒
- 昭和 59 年 7 月 大阪大学大学院医学部
- 略歴： 昭和 59 年 8 月 大阪大学医学部 助手[解剖学]
- 昭和 63 年 4 月 大阪大学医学部 講師[解剖学]
- 平成元年 4 月 札幌医科大学医学部 助教授[解剖学]
- 平成 7 年 8 月 札幌医科大学医学部 教授[解剖学]
- 平成 11 年 4 月 札幌医科大学 附属情報センター所長(兼任)
- 札幌医科大学 評議員 (～平成 14 年 3 月 31 日)
- 平成 18 年 4 月 札幌医科大学 学長補佐、標本館長
- (～平成 22 年 3 月 31 日)
- 現在に至る。
- 学位： 医学博士(昭和 62 年:大阪大学)
- 専門分野： 解剖学, 情報科学, 医療情報学
- 所属学会等： 一般社団法人 日本解剖学会 評議員
- 公益社団法人 日本顕微鏡学会 北海道支部役員
- 一般社団法人 日本医療情報学会
- 日本学術振興会 産学協力研究会 インターネット技術第 163 委員会 運営委員
- 社会的貢献： 札幌医科大学白菊会 世話人(平成元年～)
- 特定非営利活動法人 北海道地域ネットワーク協議会[NORTH])
- 理事・会長(平成 5 年～)
- 医療情報ネットワーク相互接続研究会[MDX](平成 9 年～)
- 特定非営利活動法人 医療福祉クラウド協会[MeWCA] 副理事長
- 特定非営利活動法人 日本インターネット医療協議会 理事長(平成 10 年～)
- 特定非営利活動法人 札幌シニアネット・小樽しりべしシニアネット 顧問
- 特定非営利活動法人 楽市楽画 理事
- 特定非営利活動法人 地域医療情報連携推進機構(RHII) 理事(平成 24 年～)
- 地域医療福祉情報連携協議会(RHW) 幹事
- 一般社団法人 日本ネットワーク情報センター(JPNIC) 理事(平成 25 年～)
- (非営利・地域担当)
- 受賞等： 平成 9 年 北海道知事賞
- 平成 12 年 北海道医師会賞受賞,
- 平成 15 年 北海道総合通信局長表彰

## 第 22 回 NORTH インターネット・シンポジウム 2016

### ー パネルディスカッション パネリスト略歴 ー



■氏名： 石井 安彦(いしい やすひこ)  
所属： 北海道保健福祉部 地域医療推進局 地域医療課  
職位： 医療参事

略歴： 平成 12 年 3 月 札幌医科大学医学部 卒業  
同年 4 月 札幌医科大学付属病院 泌尿器科  
平成 13 年 4 月 NTT 東日本札幌病院 泌尿器科  
平成 14 年 4 月 函館五稜郭病院 泌尿器科  
平成 15 年 4 月 旭川赤十字病院 泌尿器科  
平成 16 年 4 月 市立室蘭総合病院 泌尿器科  
平成 17 年 4 月 厚生労働省 入省 (障害保健福祉部 精神保健福祉課)  
平成 18 年 4 月 健康局 総務課 生活習慣病対策室 室長補佐  
平成 20 年 4 月 労働基準局 安全衛生部 労働衛生課 中央労働衛生専門官  
平成 21 年 4 月 保険局 医療課 課長補佐  
平成 22 年 4 月 医政局 医事課 課長補佐  
平成 24 年 8 月 医政局 研究開発振興課 医療技術情報推進室長  
平成 25 年 4 月 北海道保健福祉部 医療政策局 医療薬務課 医療参事  
平成 26 年 4 月 北海道保健福祉部 地域医療推進局 地域医療課 医療参事  
現在に至る。



■氏名： 栗原 智之(くりはら ともゆき)  
所属： 加須市医療診断センター 放射線科  
職位： 技師長

略歴： 平成 7 年 4 月 埼玉医科大学付属病院 中央放射線部  
平成 16 年 1 月 加須市医療診断センター  
放射線撮影業務&システム管理 (RIS、PACS、NW)  
かかりつけ医と連携し、地域医療情報連携に参画  
平成 22 年 1 月 「とねっと」開発・構築事業に参画  
平成 24 年 4 月 「とねっと」本稼働  
資格等： 診療放射線技師  
医療情報技師  
医療福祉情報連携コーディネーター  
「とねっと」システムワーキングリーダー



■氏名： 新井 浩二（あらい こうじ）  
所属： エムキューブ株式会社  
職位： 代表取締役社長  
出身： 広島県

略歴： 平成 17 年 3 月 文化服装学院卒  
平成 18 年 4 月 株式会社ブイキューブ入社（～平成 25 年）  
平成 26 年 4 月 エムキューブ株式会社 代表取締役 社長

工事中です。

■氏名： 萩生田 知香志（はぎうだ ちかし）  
所属： 株式会社アクティブ・ケア  
職位： 福祉用具事業部 部長

略歴： 北海学園大学法学部卒 学習塾講師を経て  
平成 6 年 株式会社アクティブ・ケア入社  
以来、在宅及び病院・施設の福祉用具の専門相談員として従事  
資格等： 福祉用具専門相談員  
福祉用具プランナー  
福祉住環境コーディネーター